

阪谷善方郎 さかたに ぜんぽう 政治家、法學博士。文久二年一月十六日備中國生れ。昭和十六年十一月十四日歿（二六三―一九四一）。阪谷朗麿の四男。號芳水。明治十七年東京大學法學部卒。大藏省入省。主計局局長、大藏次官を務め、日清・日露戦時の國家財政を運籌。三十九年藏相。のち東京市長、貴族院議員、専修大學學長、帝國飛行協會會長等歴任。また日本初の國勢調査を推進した。妻ハ流澤榮一の次女。

著書ハ『贈正五位阪谷朗麿事歴』（大正五年一月十二日自編刊）、『日本百科大辭典完成記念録』（大隈重信・市島謙吉共著、大正八年十一月（二十）自編刊）、『阪谷朗麿先生五十回忌記念』（昭和四年十一月（一十八）自編刊）、『日本女子の靜寛院宮のお話』（靜寛院宮奉贊會編、昭和十年七月九日大日本雄辯會講談社）等。

